



SciVerse Scopus 2011年2月リリースのご案内

SciVerse Scopus (サイバース・スコパス) が2011年2月27日にバージョンアップされ、検索結果画面に変更がありました。

検索結果画面の絞り込み機能の位置が画面左に移動し、検索結果のソート方法がプルダウンメニュー方式になるなど、SciVerse ScienceDirect および SciVerse Hub と一貫性のあるものになり、より使いやすくなっています。

The screenshot shows the SciVerse Scopus interface. On the left, there is a sidebar with a 'Search within results' box (1) and a 'Refine results' section (2) containing filters for Source Title, Year, Author Name, Subject Area, Document Type, Keyword, Affiliation, Source Type, and Language. The main area displays a list of document results (3) with columns for Document title, Author(s), Date, Source title, and Citations. A 'Sort by' dropdown menu is visible at the top right of the results list.

① Search within results ボックスが画面左に移動しました。

② Refine Results ボックスが画面左に移動しました。

利用可能なカテゴリをすべて最初から表示できるようになりました (バージョンアップ前は Add categories リンクで追加する必要がありました)。

- Year
- Author Name
- Subject Area
- Document Type
- Source Title
- Keyword
- Affiliation
- Language

カテゴリ名の下の上向き/下向き矢印で項目を開閉することができます。

View more / View fewer で表示件数を増減することができます。項目数が 10 件を超える場合は、ボックスが右に広がり、画面スペースを有効に使えるようになりました。

マウスをカテゴリの名前にかざすと、マウスポインタが十字矢印に変わり、カテゴリの位置を入れ替えることができます。

③ 検索結果のソート方法がプルダウンメニュー方式になりました (バージョンアップ前は検索結果の項目名をクリックする方法でした)。

- Date (Newest) (デフォルト)
- Date (Oldest)
- Citations
- Relevance
- First Author (A-Z)
- First Author (Z-A)
- Source Title (A-Z)